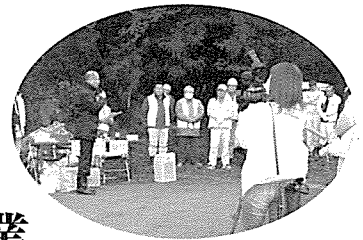


東三河支部

新城市の山間部を走る国道151号沿いの 崖下と林道の2か所で不法投棄ごみ撤去作業



撤去作業をケーブルテレビが取材

東三河支部（松井忠博支部長）は、毎年地域社会奉仕活動の一環として不法投棄ごみ撤去作業を行い、環境保全に大きく貢献しています。

今年は平成24年11月での成果を受けて、再び新城市から要請を受け、新城市池場地内を走る国道151号沿いに不法投棄ごみの現場が2か所あり、その撤去作業を11月29日（日）午前9時から実施されました。

この撤去作業には支部会員67名のほか、当協会副会長 平沼辰雄氏、新城市長 穂積亮次氏、東三河総局新城設楽振興事務所環境保全課長 小澤博之氏、地元池場区、三河川合区から20名が参加しました。また、現場は東栄町に抜ける主要道路で、カーブも多く観光ルートでもあり交通量が多い事から新城警察署交通課、川合駐在所から警察官とパトカー3台の協力をいただき安全に撤去作業が行われました。



挨拶する松井支部長



挨拶する穂積市長

参加者は午前9時に国道151号滝見橋付近の林道入口に集合し、適正処理委員長 富田雅則氏の進行でセレモニーが行われました。

松井支部長の挨拶の後、穂積新城市長、小澤環境保全課長、地元区長の伊藤 満氏、小石 豊氏から感謝の挨拶がありました。

竹内臨通夫副支部長の作業説明があり、各自にビニール袋、軍手が配られ、2班に分かれて撤去作業を開始しました。

現場は2か所とも急傾斜地で親綱を伝っての作業になりました。枯葉や枯枝の下にはペットボトル、缶、瓶、コンビニ弁当の容器、菓子袋等が大量に捨てら



参加者一同

れ、古タイヤ、バンパー、廃家電等もありました。

参加者は不安定な足場を確かめながら、拾い集めたごみをビニール袋に入れ、フレコンバッグに収集しました。一杯になったフレコンバッグはクレーンやロープを使って人力で引っ張り上げられ、プロ集団ならではの手際の良い撤去作業でした。収集したごみはフレコンバッグ50袋分、40㎡になり、協力企業の(有)松井工業、三州建設(株)、(株)トヨジン、(有)リサイクリング産業の収集運搬車両で新城クリーンセンターへ搬入され、焼却処分されました。



親綱を伝っての撤去作業



フレコンバッグを人力で引き上げる。新城警察署のパトカーが交通整理



作業終了後、衆議院議員 鈴木克昌氏より参加者へ犒いの挨拶があり、午前中で終了しました。現場はごみを取り除かれ、きれいな自然の風景を取り戻しました。また撤去作業の様子は地元ケーブルテレビの取材で、当日午後のニュースで放送されました。